

淨願寺だより

重み

207万人。これが一月二十二日現在の、コロナウイルスによる全世界の死者数とされています。実際には正確な集計がされていない国も多いため、実数は大きく上振れするだろうと言われています。

昨年五月、コロナ禍のロックダウンを経て、淨願寺の永代経法要も例年通りの形での開催は断念し、急遽インターネットを通して複数のお寺さんと協力して法要をライブ配信しました。

その中で語らせていただいたのは、「死亡者数」や「感染者数」何を思うのか、という問い合わせでした。

「今日は二千人の人が感染しました」、「五十人の人が亡くなりました」、「全世界の死者数が二百万人を突破しました」…。テレビやインターネットから繰り返し繰り返るのは、タレントのビートたけしさん

R3冬No.15

遠方にお住まの、門徒さんから定期的にお香近況を聞かせてほしい、との
ご要望があり、このたび、淨願寺だよりとしてお寺をとりまく身近な出来事を
取りまとめてお知らせしようと存ります。夏冬二回発行を予定しています。

し流れてくるその数字を聞いて、私たちはいつたい何を思えば良いのか…。もちろん感染症の対策や、統計学的にはその数は非常に有用なデータなのでしょうが、多くの私たちはその数字を聞いて、「死者数が増えてしまったな」とか、「今日は感染者が少し減ったな」とテレビの前で一喜一憂することしか出来ないのが現実ではないでしょうか。

常々オイラは考えるんだけど、こ
ういう大変な時に一番大事なのは「想像力」じゃないかって思う。今回
の震災の死者は一人も、もしかして
たら二万人を超てしまうかもしれない。テレビや新聞でも見出しに
なるのは死者・行方不明者の数ばかりだ。だけど、この震災を「二万
人が死んだ一つの事件」と考へると、
被害者の事を全く理解できないん
だよ。じゃあ、八万人以上が死んだ
中国の四川大地震よりマシだったの
か、そんな風に数字でしか考えら
れなくなっちゃう。それは死者への
冒瀆だよ。

人の命は二万分の一でも、八万
分の一でもない。そうじやなくて、そ
こには「一人が死んだ事件が二万
件あった」つてことなんだよ。
被災地のインタビューを見たって、
みんな最初に口をついて出てくるの
は、「妻が」、「子供が」だろ。

一個人にとつては、他人が何万
人死ぬことよりも、自分の子供や
が、雑誌のインタビューで語つておられたことです。

常々オイラは考へるんだけど、こ
ういう大変な時に一番大事なのは
「想像力」じゃないかって思う。今回
の震災の死者は一人も、もしかして
たら二万人を超てしまうかもしれない。
生きていれば、十万人死んでも、
百万人死んでもいいと思つてしま
うのが人間なんだよ。

そう考へれば、この震災の被害
の「重み」が少し分かりはじめる。
二万通りの死に、それぞれ身を引
き裂かれる思いを感じてゐる人たち
がいて、その悲しみに今も耐えて
いる、そのことの重みが。

現在のコロナウイルスによる死
者は207万人。207万通りの喪失に今も耐えている人たちがい
る。そしてその喪失は今後爆発的
に増え続けるでしょう。その「重み」
を少しでも想像してみる事の出
来る人たちに、コロナ後の世界は
再構築して欲しい。切にそう願い

おかげさまで、天井納経の奉納、
天井板の張替え工事が
完了致しました。

経年の劣化が激しかった本堂
格天井の天井板。このたび、無
事に張替え工事を終える事が
出来ました。ひとえに皆様のご
協力のおかげです。

せっかくのお寺の工事ですので、
コロナ禍にあって、何か皆さんのが
心を一つにするような行事に

出来ないかと考え、門信徒の皆
様に写経をしていただき、天井
板に貼って奉納させていただく
事を思つきました。

そしてまたいつかこの淨願寺の
天井裏を見る人がいれば、このコ
ロナ禍の時代に、私たちが何を思
い、何を祈りながらこの難局を
乗り越えたかを後世に伝えてく
れることと思います。

皆さんのお写経は天井板の裏面
に貼らせていただきましたので、
普段は見ることはできません。
しかし、毎日お香のかおりが立
ち、読経の声響く淨願寺の天井
裏から、これからも永きに渡つて
私たちを見守り続けてくれるで
しょう。



天井裏に奉納された写経

門徒の広場はWEB版ではご覧いただけません。

生・老・病・死(しよう・ろう・びょう・し)とは、生まれ、老い、病を受け、死を迎えること。お釈迦様が私たちが決して自分の想いを綴ったお手紙を添えて下さった方もおられます。また、大きく力強い仏語を書いてくださった方、かわいい仏様の絵

安心——
慈悲と
仏は説く
生・老・病・死
何するものぞ

お寺の掲示板